

令和元年度 長野市観光振興計画に基づく事業実績及び評価－抜粋－

政策	施策	事業	事業評価
1 観光地域の効果的な発信	1-1 観光情報の効果的な発信	1-1-1 共通のコンセプトに基づく観光情報の発信 ・市ホームページを活用した情報発信 ・JR長野駅における映像での情報発信 等	・多様な主体が、インスタグラムやツイッターなどソーシャルメディア等を活用しながら、動画等を用い、きめ細やかな情報発信が実施されている。誘客に向け、Web上の情報拡散に向けた工夫など、効果的なPR方法を取り入れていく必要がある。 ・市としての一体感、統一感には課題が残る。
		1-1-2 ターゲットに向けた効果的な情報発信 ・SNSを活用した観光情報発信 等	
	施策評価	・ターゲットやツールの特性にあわせ、どの層にどのような情報発信を行っていくかを検討し、効果を高めていくことが必要。Web上での動画等の更なる情報拡散に向けた工夫が必要である。	
	1-2 地域資源の磨き上げによる魅力向上支援	1-2-1 「長野市ならではの」の食事やお土産（飲食物）の開発支援 ・マツシロックプロジェクト、松代杏スイーツ研究会 ・動画制作ワークショップ 等	・地域の協力を得ながら、地域資源を活用した新たな土産の開発・商品化が進んだ。定着化に向け周知が必要。 ・動画制作ワークショップを通じて長野市の「食」や「場所」などの新たな魅力発信・発信につながっており、引き続き、効果を高めていく必要がある。
		1-2-2 市内滞在時間延長のための善光寺界隈、戸隠、松代を起点とした周遊コンテンツ開発 ・(善光寺界隈)リアル七福神 ・(戸隠)戸隠神社早朝お掃除体験等 ・(松代)ロクモンGO！ 等	・善光寺界隈、戸隠、松代の作業部会（以下、作業部会）を中心に、地域特性に応じた観光コンテンツの開発が進んだ。コンテンツ提供を地域で持続可能なスタイルで続けていく体制づくりが求められる。
		1-2-3 スポーツや文化芸術、文化財などを切り口としたコンテンツ開発 ・ユニバーサルツーリズム事業 ・真田邸ライトアップ「幻奏」 等	・ながの獅子舞フェスティバルなどの文化財等を観光資源として活用し、多くの集客につながっており、引き続き活用に向けた取組みを進めることが求められる。 ・戸隠観光情報センター内にユニバーサルツーリズムデスクを開設し、高齢や障がいの有無に関わらず、楽しめる観光地づくりが始まった。需要が見込まれる旅行スタイルであり、定着化に向けた取組みが必要である。
		1-2-4 未活用の地域資源を活かした新しいコンテンツ開発支援 ・鬼無里フットパスによるまちづくり事業 ・移住者起業支援金 等	・住民、NPO等と連携し、身近な地域資源を活用した新たな観光コンテンツづくりを進め、形になってきている。多地域との連携による誘客が必要である。
	施策評価	・関係者、庁内各課と情報共有を行い、市内の様々な地域資源の観光コンテンツとしての磨きあげや開発が行われ、来訪を促す取組みが進んでいる。市場ニーズ等に合致するようなテーマの設定を引き続き検討し、改良していくことが必要である。	
	1-3 観光都市を実現するための人材育成・体制整備	1-3-1 観光リーダー育成支援 ・長野市観光振興計画アクションプラン作業部会	・作業部会では、正副部会長会議等を開催し、各部会の取組み等の情報共有を行い、コンテンツ開発の知識等が共有されている。外部アドバイザー等を入れるなど、レベルアップの取組みが必要である。
		1-3-2 観光関連事業者間連携・受入体制構築支援 ・戸隠の交通渋滞対策 ・バスロケーションシステムの構築 ・戸隠観光協会ガイド部の構築 等	・作業部会には、幅広い観光事業者が参画し、事業者間連携が進んだが、地域により活動に差がある。 ・バスロケーションの構築、ガイド部（戸隠）の発足などが進んだ。取組みの周知を図るとともに、質を上げていくことが必要である。
1-3-3 おもてなし意識の醸成 ・長野市未来共創事業（サイクルツーリズムセミナー） 等		・世界的にも人気が出てきている自転車事業の受け入れ態勢の整備に向け、市内の自転車店経営者を招き、セミナーを開催した。関係機関と連携して自転車愛好家の受入環境をより一層高める必要がある。	
施策評価	・質の高いサービスや新しいコンテンツ開発が行われる基盤として、市、ビューローによる人材育成が実施されており、魅力ある観光都市に向け、継続的に実施していくことが必要である。		
2 広域連携とハブ機能の強化	2-1 広域連携による誘客活動の推進	2-1-1 広域周遊観光促進のためのプロモーション・コンテンツ開発 ・松本市、上田市との連携事業 ・集客プロモーションパートナー都市協定 等	・関係自治体等と連携を図りながら、広域周遊観光の促進に向け、観光プロモーションを実施。関係自治体等との情報交換を行い、さらに効果的な誘客となるよう、取組みを進めていくことが求められる。
		2-1-2 ハブ機能強化に向けた長野市観光情報センターの強化検討 ・長野市観光情報センター運営	・長野市観光情報センターの利用は、新型コロナウイルスの影響前は前年同期比105%であり、着実に認知されてきている。インバウンド回復期に向け、県内外の観光地に向かう観光客への案内など、案内力向上の取組みが必要。また「まち歩き観光」の拠点としてチケット・クーポンの販売促進を進めていくことも必要である。
	施策評価	・関係自治体等との連携を強化し、広域周遊観光の促進に向けた取組みを推進し、更なる誘客を目指していくことが必要である。 ・長野市の玄関口でありハブとなる観光情報センターの機能を一層高めていくことが求められる。	

政策	施策	事業	事業評価
3 地域資源に根ざしたインバウンドの推進	3-1 インバウンド推進のためのプロモーション・コンテンツ開発	3-1-1 ターゲット市場への情報発信力の強化 ・海外でのイベント・旅行博への出展・参加	・新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド回復期に向け、「スノーモンキー」や「HakubaValley」など、集客力が高いエリアと連携したプロモーションの準備を行う必要がある。
		3-1-2 外国人観光客が楽しめる観光コンテンツ開発 ・善光寺イルミネーション、灯明まつり・松代ツアー ・旅行代理店等と連携したツアーの造成 等	・白馬村及び野沢温泉村に滞在する訪日外国人旅行者を対象とするツアーの実施など、近隣市町村と連携した取組みが進んだ。長野市内の宿泊に繋がるような効果的な取組みを進めることが求められる。
		3-1-3 広域連携によるコンテンツ開発・プロモーションの実施 ・信越高原連絡協議会(妙高市、信濃町、飯綱町) ・金沢市との連携による海外メディア招聘事業 等	・近隣市町村と連携し、重点ターゲット国である台湾などからの誘客に向け、サイクルツーリズムのファムトリップ等を行った。安定的な誘客につながるよう、関係自治体等と連携したプロモーションを展開していく必要がある。
	施策評価	・新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、外国人旅行者のニーズを掴んだコンテンツづくり、近隣市町村と連携した誘客促進の取組みが必要がある。	
	3-2 外国人観光客受入環境整備	3-2-1 主要観光地・主要施設、主要観光コンテンツの多言語化促進 ・各種外国語パンフレットの作成	・多言語の外国語パンフレットの制作等により、外国人観光客の受入環境を整備した。市内で快適な旅行となるよう、配布の工夫などの取組みが必要である。
		3-2-2 主要観光地におけるWi-Fi環境整備の検討 ・Wi-Fiのアクセスポイントを設置	・「もんぜんぶら座」「セントラルスクエア」などにWi-Fiのアクセスポイントを設置した。外国人旅行者の声を踏まえ、整備を進める必要がある。
	施策評価	・外国人観光客が快適に滞在できるための受入環境整備が進んでいる。外国人観光客目線で、受入環境の整備を今後も続けていくことが必要である。	
	3-3 インバウンド対応人材の育成	3-3-1 外国人観光客受入意識の向上 ・観光事業者養成塾 ・未来共創事業	・世界的にも人気が出てきている自転車事業のセミナーを実施。インバウンドの受入を積極的に行う事業者は少なく、引き続き受入意識向上に向けた取組みが必要。 ・東京オリンピック・パラリンピック、善光寺御開帳に向け、英語ガイドの育成が進んだ。インバウンド向けの観光コンテンツ開発に関わる専門人材は少なく、引き続き、人材育成が必要である。
		3-3-2 インバウンド専門人材育成支援 ・長野市ガイド協会インバウンドプロジェクト	・東京オリンピック・パラリンピック、善光寺御開帳に向け、英語ガイドの育成が進んだ。インバウンド向けの観光コンテンツ開発に関わる専門人材は少なく、引き続き、人材育成が必要である。
	施策評価	・本市を訪れる外国人観光客に対するサービスの向上に向けた気運の醸成が図られつつあるが、インバウンドの受入れを積極的に行おうとする事業者等が未だ少ない状況にある。 ・関係者との連携の強化や受入意識の向上につながる取組みを実施していくことが必要。	
4 特色あるコンベンションの誘致促進	4-1 コンベンション誘致強化	4-1-1 スポーツ・文化芸術などに関連するコンベンション等の誘致活動 ・コンベンション誘致活動 ・スポーツ大会開催支援金 等	・コンベンションの参加人数は、地方都市では高い水準を維持しており、引き続き誘致に努める必要がある。 ・東日本台風災害や東京2020オリンピックの延期によりスポーツ大会が中止となった影響があったため、前年度と比較し、減少傾向にある。
		4-1-2 コンベンション等参加者への観光情報の発信 ・コンベンション等参加者への観光情報の発信	・コンベンション等の参加者に対して、観光情報及び飲食店情報等を提供し、周遊を促進している。引き続き、情報提供を継続して、滞在時間の延長を促すきっかけづくりを行うことが必要である。
	施策評価	・ながの観光コンベンションビューローが支援を行ったコンベンションは前年比増となっており、好調である。引き続き情報発信を強化し、誘致に努めるとともに、参加者の市内周遊促進に向けた取組みをより一層、強化していくことが必要である。	
	4-2 フィルムコミッションの強化と観光への活用	4-2-1 ドラマや映画の舞台となるような作品の誘致 ・フィルムコミッション支援	・映画・ドラマ・CM等の撮影について制作支援することにより、映像を通じて市の知名度を向上させ、誘客推進が図られている。
4-2-2 これまで撮影されたドラマや映画情報のPR ・これまで撮影されたドラマや映画情報のPR		・長野市総合版のロケ地マップを新たに作成し、発行。今後、内容を更新し継続的に発信していく必要がある。	
施策評価	・首都圏等からのアクセスの良さや多様な地域資源、受入側のサポート体制（各種交渉など）などの強みをPRし、撮影誘致を積極的に進めていくことが必要である。 ・公開後の作品の評価も収集し、相乗効果が得られるようなプロモーションが必要である。		
5 計画の効果的な実行	5-1 関連情報収集、施策評価の実施	5-1-1 統計情報の定期的収集とそれに基づく事業評価 ・観光客へのアンケート調査実施 等	・指標となるデータの収集を行い、客観的視点から観光振興計画の進捗を把握し、各事業が観光振興計画の指標の達成に資するものとなっているか、今後も定期的に評価検証を行っていくことが必要。
	5-2 庁内・関係機関との連絡調整・事業コーディネート	5-2-1 関係者と連携した事業実施に係る進捗共有 ・庁内における関連情報の収集	・関係機関と連携を図りながら、観光振興計画の指標の達成に向け、各事業の推進することが必要。
	施策評価	・更なる庁内関係課や観光関連事業者など関係者との情報共有や事業効果の検証が必要である。	